

## 平成30年度 第1回(通算57回) ソフィア発見講座(報告)

実施日 平成30年10月3日(水) 18:00～20:00

会場 磐周教育研究所 大会議室

主催 研究所 活動推進委員会 テーマ 「かがやき発見!大冒険!!」

講師 石井 誠一 (県立観音山少年自然の家 教育主幹)

## 1 主催者挨拶並びに講師紹介(副委員長 雪島こず江 山名小学校長)

本日講話していただく「石井 誠一」先生は、観音山では、「トンビ おじさん」です。観音山少年自然の家は、磐周地区のほとんどの小学校で利用しています。かつては、磐周の中学校でも利用していました。磐周からも多くの先生方が観音山の所員として、教育現場から送り込まれています。

そんなこともあって、先生方にとっては、馴染みの深い施設だと思います。観音山は「小中学校宿泊体験学習のための施設」というイメージが強いのですが、観音山の所員が企画する主催イベントもたくさん開催しています。そのことを先生方はあまり知りません。内容だけでなくその中で味わう感動も知りません。私は、それを是非皆さんに知っていただきたいと思い、石井先生に御講話をお願いしました。

講師の石井先生は、中学校の社会科教員として、平成7年に採用され、福田中→ 浅羽中→ 竜洋中→ 浜松西高中等部→ 竜洋中→ 観音山少年自然の家という勤務歴をおもちです。

## 2 講話



## — 8. 0の良い目「トンビおじさん」— (おじさんネームの秘話有り)



## ①「観音山」ってどんなところ

- ・浜松市北区引佐町・・・フルーツパークから15分
- ・今年45歳
- ・社会教育施設
- ・およそ200校来校(1年間で延べ4万人が利用)
- ・11人のおじさん達で切り盛り
- ・おじさんネーム発祥の地?! 観音山から他の施設へ広がる。

## ②おじさんの仕事

- ・入所者への対応
- ・エリアの管理

東京ドーム150個分の面積を管理

倒木の処理・看板・橋の修理

・イベント

小学生向け4回・家族向け10回・リーダー育成研修会2回

「ライバルはディズニーランド！」はじけ盛り上げる！

ドラクエのコンセプトで冒険王国を盛り上げる！

本気でふざける！

夢いっぱいの手作りプレゼント・・・トトロではなく、「森の妖精」？！

ピカチュウではなく、「カンチュウ」？！

パクリではなくリスペクト！

大学生が大活躍・・・30人ぐらい（けがの処置、ロープの縛り方、レク等）

大学生の中で研修し合う。

1年生：研修生・副隊長

2年生：隊長・・・子ども達の隊のリーダー

3年生：SS

4年生：チーフ

冒険王国：流しそうめん、崖上り、沢遊び、10キロの冒険ラリー2回、スイカ割り  
フェス（大学生が歌い、みんなで踊りまくる）

お別れでは、大学生と子ども達が大号泣

・小学校3大プログラム（山頂登山・冒険ラリー・沢登り）

・週1宿泊

大学生が大学生（下級生）を育てる。

③最後に

観音山の仕事は、いいところ取り・・・

・いい表情ばかりをもらう。

学生達もおじさん達以上のパフォーマンスを見せるようになる。

達成感を感じている笑顔



毎日自分が笑顔にさせられている。目尻のしわが増えた。

この1年半、観音山で過ごしてみて、今までの教職人生を振り返ってもみると、なぜそんなに肩の力を入れて指導していたのか・・・とってしまう。もっと力を抜けばいいじゃないかと自分に言いたい。とても有意義な時間を過ごすことができている。



3 お礼・終わりの言葉

（顧問 大村 高弘 磐田中部小学校長）

『トンビおじさん』！ 仕事の疲れを忘れるような楽しいお話を、ありがとうございました。



ユニホームにプリントされた「NON DEL」の意味にも合点がいました。こうした仕事をされる所員さんの心の奥にあるのは、「来てくれた子どもたちに、とにかく楽しんでもらいたい」との強い願いだと分かりました。

集いの広場にある『観音山は感動山』の言葉どおり、「人とのつながり」「自然とのかかわり」「感動」などが大切にされている観音山の魅力を、たっぷりとお伝えいただけたことに感謝いたします。